

# 野良猫の里親募集、避妊手術を呼びかける媒体の制作

## A research on the advertisement to find foster families for stray cats and encourage spaying

長曾我部 友

指導教員 西野 隆司

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 値値創造研究室

キーワード：猫・環境・命・リーフレット・里親

### 研究目的

近年、野良猫の数は減ってきてはいるものの、今でも年間約7万匹の猫が殺処分されている。

その状況を少しでも改善できるよう、里親会で保護されている猫を引き取ってくれる人を一人でも増やし、また里親会とはどのような存在なのかを知つてもらう。そのために里親会の活動内容などの情報を載せた紙媒体を制作する。

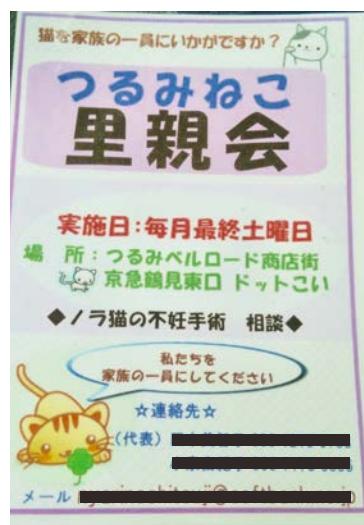
### 調査内容

現在、「猫を飼いたい」と思った時にペットショップに行くことが当たり前になっている。里親会ではペットショップで飼うことに比べ遥かに安く、避妊手術まで行ってくれる。

ペットショップでは避妊手術を行っておらず、知らないうちに飼っていた猫が出産してしまう、といったケースも存在する。

このように、条件が合えばペットショップよりも手頃に飼い始めることができる。しかし問題視されるのは、その譲渡条件の厳しさである。一人暮らし、未婚のカップル、外国人、60歳以上の方は飼うことができないなど、団体によって差はあるがどの団体も基本的に厳しい条件ばかりである。また、里親会という存在の知名度も、ペットショップに比べ低いことが分かつた。

図1 実際に使われている里親会のポスター例



また、三軒茶屋駅にあるCat's Meow Books(キャッツ ミャウ ブックス)という本屋にも行き、調査を行つた。店に置いてある本は全て猫に関する本で、なにより面白いのは、この店の店員は猫だということである。店にいる猫は全て保護猫で、保護猫を店員として雇い、看板猫として活躍してもらう代わりに、保護活動団体に利益の一部を寄付し、保護猫と本屋が互いに助け合つことが目的となつてゐる。



図3 Cat's Meow Books(キャッツ ミャウ ブックス)

### コンセプトおよびアイディア展開

まずはより多くの人に里親会の存在を知つてもらうことが重要であると考えた。そこで本研究は「無関心から関心に」をコンセプトとする。紙媒体はA4サイズの三つ折りのリーフレットで、コンパク

トで手にとってもらいやすく、計6ページで多くの情報を記載することができる。また実際に猫の写真を載せたりイラストなどを使い、読みやすく、興味を持つてもらえるような工夫をする。画像と文章を組み合わせることでより分かりやすくする。



図2 避妊手術を受けた猫は印として、片耳をカットする。

### 現段階での最終提案

- ・詳しい情報を記載したリーフレット

里親会の活動内容や、譲渡条件などを記載したりーフレット。持っていて邪魔にならないようA4サイズを三つ折りにしたものにする。

写真などを使ったり、文字サイズを変えることで見出しを分かりやすくしたり、大事な箇所は色を変えてより伝わりやすくする。

- ・子供に向けた小冊子

子供が親に「ペットを飼いたい」とねだり、ペットを飼うケースは多い。

リーフレットは大人向けの、細かい情報を載せるが、それとは別に子供に向けた小冊子の制作も行う。

それを読んだ子供が親に「里親会から猫を引き取りたい」と言うことで、その親にも里親会のことを宣伝することが目的である。

### 今後の展開

制作したリーフレット、小冊子をどこに配置するかを検討する。

今考えている配置場所は、動物病院の前や、よく里親会が譲渡している駅前や、駅の中が良いのでは、と検討している。また子供や子連れをターゲットにしているので、ショッピングモールなどにも配置したいと考えている。

また実際にリーフレットの試作を作り、里親会の方に見ていただきブラッシュアップする。

### 参考文献

つるみ里親会：つるみ・猫のカギしっぽ <http://>

tsurumineko.blog9.fc2.com 2017,8,20

top.tsuite.jp/lifestyle/life...2017,8,23